

4. 古墳時代の調査成果

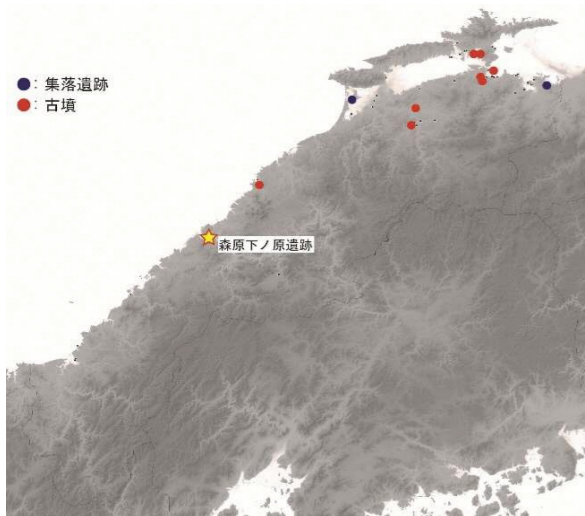
見つかった青銅鏡



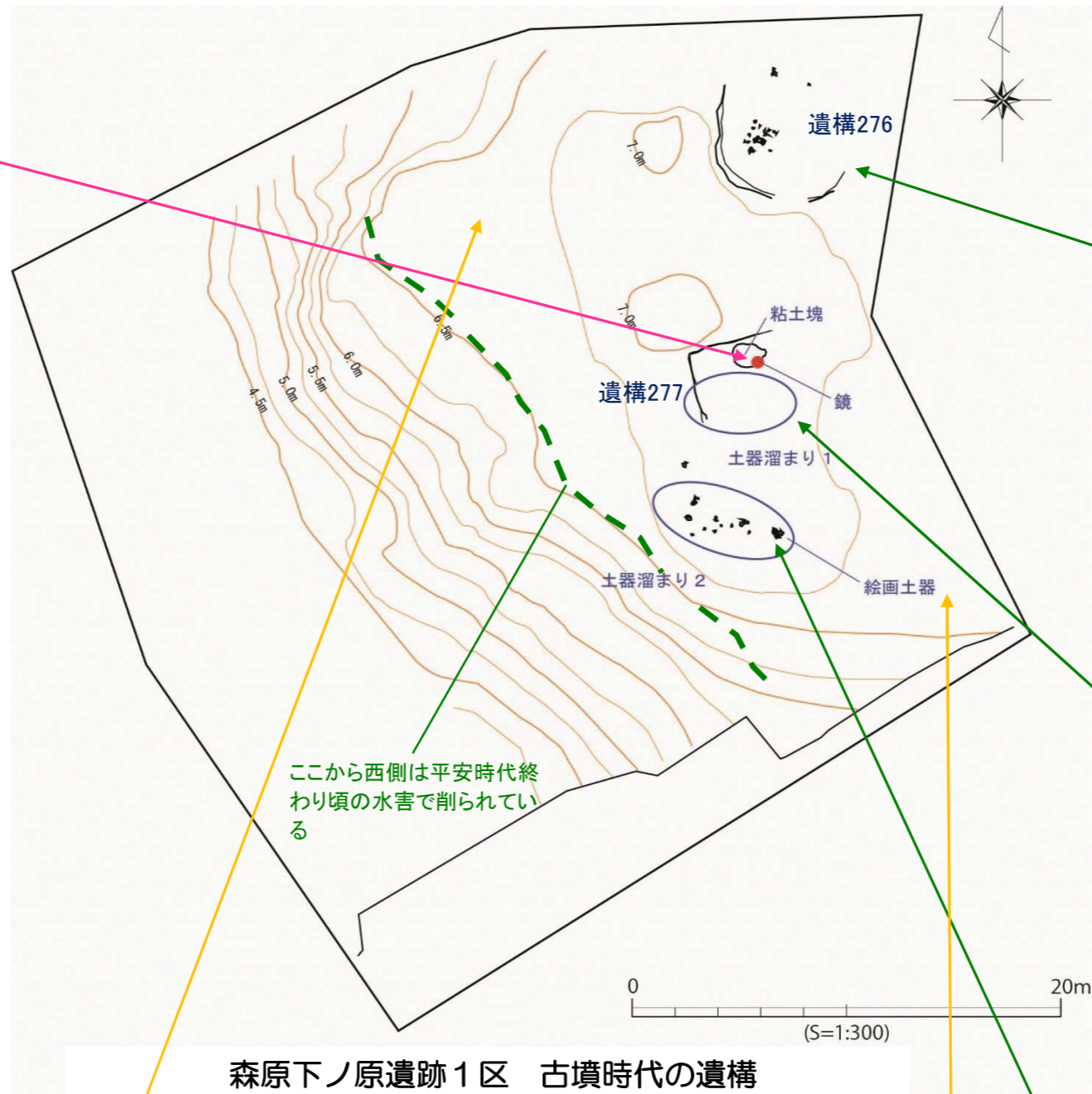
●青銅鏡の出土状況（第3層）
復元直径は約12cm。文様や厚さから2世紀前半に後漢（中国）で製作された盤龍鏡（ばんりゅうきょう）の可能性がります。



【参考】佐賀県 久里双水古墳出土盤龍鏡

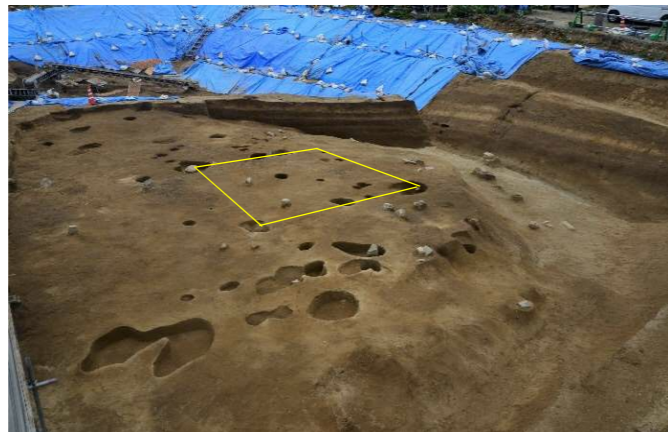


島根県内の漢鏡分布図



ここから西側は平安時代終り頃の水害で削られている

その他の調査成果



●北西部の柱穴群と土層断面
黄色い線は室町時代の建物跡。平安時代の水害後、人の生活と小規模な氾濫が繰り返された様子が調査区壁面で確認できます。



●東側第6層の遺物出土状況
古墳時代の遺構面の下層では、弥生時代前期の土器と石斧の未成品や石材が大量に出土しました。江の川河岸で採集した石材を加工した様子がわかります。

古墳時代前期の遺構と遺物



●遺構276
床面で土器がまとまって出土しました。



●遺構277と粘土塊
土器溜まり1の下で段状遺構と粘土塊が見つかりました。粘土塊の中には壺の口を合わせたものがありました。



●絵画土器（壺）の出土状況
胴部の破片や人頭大の石も近くで出土しました。